

	桔梗が丘自治連合協議会 平成25年度 第9回 理 事 会 議 事 録																		
場 所	桔梗が丘公民館・202号室																		
日 時	平成26年1月25日（土） 9：30～12：35																		
出 席 者	出席者・辻森、大垣、上田、河合、武仲、阪本、野邊、西宮、廣岡、吉野、加納、梅本、中村、山中、松村、田合監事、福森監事。 森田地域担当監。 欠席者・鈴木、竹原。																		
議事 決議事項 1. 議事録署名人 報告事項 1. 平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告（平成25年12月末）について	大垣副会長が司会を務め会議が始まった。 辻森会長の挨拶の要旨 「平成25年度も新年を迎えました。今年初めての理事会ですが、桔梗が丘のまちづくりの様々な課題の解決に向け、皆さんと一丸となって取組んで行きたいと思っています。今年も1年間よろしくお願いします」と述べた。 辻森会長が議長となり会議が始まった。 自治連合協議会規約第46条第2項の規定により、議事録署名人に、河合進氏、武仲元男氏を選任し承認された。 議長は、「引き続いて報告事項に移ります」と述べた。 松村事務局次長から、平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告（平成25年12月末）について、別添え資料に基づき概ね次の様に報告があった。 ＜協議会会計＞ 収入の部（主な科目のみ） <table> <tr> <td>報償費</td><td>150,000円（地域環境推進員）</td></tr> <tr> <td>収入合計</td><td>150,000円</td></tr> </table> 支出の部（主な科目のみ） <table> <tr> <td>人件費</td><td>769,461円（職員給与、雇用保険）</td></tr> <tr> <td>総務費</td><td>160,294円（ビジョン新規事業他）</td></tr> <tr> <td>広報費</td><td>90,890円（ききょう通信）</td></tr> <tr> <td>健康推進費</td><td>24,000円（講師料）</td></tr> <tr> <td>住民交流費</td><td>150,000円（H. N. F. 準備金）</td></tr> <tr> <td>教育文化費</td><td>△3,023円（戻し入れ）</td></tr> <tr> <td>地域福祉費</td><td>32,200円（いきいきサロン）</td></tr> </table>	報償費	150,000円（地域環境推進員）	収入合計	150,000円	人件費	769,461円（職員給与、雇用保険）	総務費	160,294円（ビジョン新規事業他）	広報費	90,890円（ききょう通信）	健康推進費	24,000円（講師料）	住民交流費	150,000円（H. N. F. 準備金）	教育文化費	△3,023円（戻し入れ）	地域福祉費	32,200円（いきいきサロン）
報償費	150,000円（地域環境推進員）																		
収入合計	150,000円																		
人件費	769,461円（職員給与、雇用保険）																		
総務費	160,294円（ビジョン新規事業他）																		
広報費	90,890円（ききょう通信）																		
健康推進費	24,000円（講師料）																		
住民交流費	150,000円（H. N. F. 準備金）																		
教育文化費	△3,023円（戻し入れ）																		
地域福祉費	32,200円（いきいきサロン）																		

	支出合計 1, 2 2 3, 8 2 2 円 1 2 月末の収入累計 2 3, 8 8 6, 7 9 2 円から支出累計 1 7, 9 5 4, 4 3 9 円を控除した預金残高は 5, 9 3 2, 3 5 3 円となっています。 <公民館会計> 収入の部（主な科目のみ） <table> <tr> <td>使用料</td><td>3 1 3, 9 2 9 円</td></tr> <tr> <td>収入合計</td><td>3 1 3, 9 2 9 円</td></tr> </table> 支出の部（主な科目のみ） <table> <tr> <td>管理費（消耗品費）</td><td>2 1, 1 7 6 円</td></tr> <tr> <td>〃（光熱水費）</td><td>2 8 6, 3 0 8 円</td></tr> <tr> <td>〃（電話費）</td><td>1 3, 9 4 1 円</td></tr> <tr> <td>〃（委託・手数料）</td><td>1 2 0, 7 0 2 円（舞台吊物点検）</td></tr> <tr> <td>〃（備品購入費）</td><td>7, 4 7 7 円</td></tr> <tr> <td>〃（使用料等）</td><td>6 7, 9 4 2 円（リース料等）</td></tr> <tr> <td>運営費（報償費）</td><td>5 0, 0 0 0 円（講師料）</td></tr> <tr> <td>（印刷費等）</td><td>2 6, 9 3 2 円（情報誌）</td></tr> <tr> <td>〃（事業費）</td><td>6 1, 5 7 0 円（講座運営費）</td></tr> <tr> <td>支出合計</td><td>6 5 8, 7 2 3 円</td></tr> </table> 1 2 月末の収入累計 1 5, 8 4 8, 5 1 2 円から支出累計 1 2, 5 2 9, 5 2 8 円と、手持ち現金 1 0 5, 6 9 2 円を控除した結果、預金残高は 3, 2 1 3, 2 9 2 円となっています」と述べた。 以上報告に対し、議長は出席者からの質問を求めた。 Q. 協議会会計の費用弁償費の支出が 0 ですが、支出の予定はどうなっていますか。 A. 各委員会、部会の会合の出席者に支払う予定で、年度末に支払う予定になっています。 以上、会計累計報告は了承された。 辻森会長：「会計の件に関して、次年度の計画について各委員会・部会共検討を始めて頂きますが、名張市からの交付金については、今後、増額を検討される所はあるのですか」 森田担当監：「ゆめづくり協働事業については内示を受けていますが、その他全体の交付金についてはこれからの課題とさせていただきたい」 辻森会長：「交付金については、各委員会、部会共、現状に合った有意義なものとなるようお願いしたい」	使用料	3 1 3, 9 2 9 円	収入合計	3 1 3, 9 2 9 円	管理費（消耗品費）	2 1, 1 7 6 円	〃（光熱水費）	2 8 6, 3 0 8 円	〃（電話費）	1 3, 9 4 1 円	〃（委託・手数料）	1 2 0, 7 0 2 円（舞台吊物点検）	〃（備品購入費）	7, 4 7 7 円	〃（使用料等）	6 7, 9 4 2 円（リース料等）	運営費（報償費）	5 0, 0 0 0 円（講師料）	（印刷費等）	2 6, 9 3 2 円（情報誌）	〃（事業費）	6 1, 5 7 0 円（講座運営費）	支出合計	6 5 8, 7 2 3 円
使用料	3 1 3, 9 2 9 円																								
収入合計	3 1 3, 9 2 9 円																								
管理費（消耗品費）	2 1, 1 7 6 円																								
〃（光熱水費）	2 8 6, 3 0 8 円																								
〃（電話費）	1 3, 9 4 1 円																								
〃（委託・手数料）	1 2 0, 7 0 2 円（舞台吊物点検）																								
〃（備品購入費）	7, 4 7 7 円																								
〃（使用料等）	6 7, 9 4 2 円（リース料等）																								
運営費（報償費）	5 0, 0 0 0 円（講師料）																								
（印刷費等）	2 6, 9 3 2 円（情報誌）																								
〃（事業費）	6 1, 5 7 0 円（講座運営費）																								
支出合計	6 5 8, 7 2 3 円																								
2. 名張市内新高校設置に関する問題について	辻森会長から、「名張市内新高校設置に関する問題については、一昨年の秋以来、これまで数回に亘り三重県教育委員会との間で説明会や要望書の提出を重ねてきましたが、余り満足のいく成果を挙げることは出来ていません。こうなっている理由を色々と考えて見ますと、もう少し																								

	名張市の行政側との連携を密にした方が良かったのではないかと感じています。そこで、今後の方向としてはこの課題と反省を踏まえて、名張市の行政側と協議・連携を図りながら進めていくのが良いと思っています。残された課題は、鈴木三重県知事との面談が未だ実現していないことです。この課題の克服のことも含めて1月28日午前中に名張市の上島教育長と面談を致します。同席いただく予定は上田副会長と野邊理事です。その場ではこの問題は勿論、名張市内の小・中学校の教育環境のことについても意見を交わしたいと思っています。 鈴木三重県知事には引き続き面談を申し入れ、行政側に対する我々の考え方や幅広い考えのもとに行政を進めて頂くよう申し述べたいと思っています。名張市側にもその旨を申し入れています。跡地の利活用については市側と連携をしながら、最終的には桔梗が丘のまちづくりに役立ち反映されるよう、活動していきたいと考えています」と述べた。 ＜出席者の意見＞ 野邊理事：先月、名張市議会、伊賀市議会の両議長が三教委に要望書を出されているものの、最近、一部の名張市議会議員の発言を見ると、名張西高跡に新高校を統合したあとの名張桔梗丘高校の跡地利用について論じられているように思えるが、地元に対しての働き掛けがないが、この動きは我々として無視できないとおもう。早急の課題として、我々桔梗が丘地域としても、この跡地の利活用問題に重点的に取り組む時期に来ているのではないかと考えている。 辻森会長：「名張市側も連携して協議、検討を始めることは重要と考えており、先程お話した今月28日の教育長の面談の場でも取り上げたいと思っています。そして何らかの方向性を出して行きたい。一方、名張市議会議員との接触も必要と思っている」 3. 名張市都市計画見直し(案)について 辻森会長から、「名張市都市計画見直し(案)」について先週の自治連合会で説明がありましたが、2月15日(土)桔梗が丘公民館で名張市都市計画室から住民向けの地域懇談会が開催されますので、ご参加ください。今回の見直し案の内容は「用途地域等の見直し」及び「都市計画道路の見直し」です。計画の終了年度は2年後を予定されており、その間、市民や地域の意見も取り入れて、検討、推進されます」と述べた。 ＜大垣副会長からの補足報告と説明＞ 「桔梗が丘地域においては、用途地域等の指定検討対象地区として、西1番町、西6番町、西7番町が現行の専用住宅敷地区分から次の様に見直しが検討されます。 ・ 西1番町：第1種中高層住居専用地域 ・ 西6番町・西7番町：第1種低層住宅専用地域 一方、既存の用途地域見直しの中で、桔梗が丘沿道地区が一定規模の店舗等の立地を許容する用途地域に見直しがされます。
--	---

4. 委員会・部会事業活動報告	詳細については、住民懇談会にご参加の上お聞き下さい」と述べた。 辻森会長：「我々の最も関心の深い住民密着道路の整備についても引き続き要望していきたいと思っています。永年、懸案となっている桔梗が丘地区と桔梗が丘西を結ぶ道路の整備については特に関心を持って対処して行きたいと考えています」 大垣副会長：「来月の自治連合会で、各自治会・区の道路整備に関する意見を集約して要望を出していきたいと思います」 野邊理事：「先日の自治連合会での説明を聞き、今回の見直しは国の意向を汲んでの作業と思われたが、その前に地元地域の意向、要望を汲んだ上で、名張市全体がどのようなまちなり、そのためにはどのような計画と事業が必要なのか、もっと考えてもらいたいと感じた。説明の内容についても、もっと丁寧に中身のあるものになるよう要望をしていただきたい。 それから、行政側から各種の住民説明会が実施されますが、今後は事前に資料配布していただく事、そして自治連合会は不満をぶつける場ではなく、実りのあるものになるよう努力して頂きたい」 大垣副会長：「先日の説明会ではもっと積極的に地域の意見を汲み取る場（検討会等）を設けるよう要望をし、担当室から了承をしてもらっています」 <総務委員会> 大垣副会長（総務委員長）から、「2月8日（土）の研修会の実施内容が決定しました。お手元に資料を配布しておりますが、研修先は平成23年9月、桔梗が丘に研修に来られました愛知県碧南市を訪問し、当地のまちづくり活動について現状の説明を受け、交流を深めるとともに、我々のまちづくりに生かして行きたいと思っています。是非皆さんご参加くださいますようお願いいたします。 次に、先月の定例理事会で承認されました協議会規約の改定案が、先週の自治連合会でも承認されましたのでご報告します。 さらに、役員（協議会会長）の選出に関して、幅広く人材を募る方針の元、改定案を作成することが了承されましたので、次回、改定案を提案させていただきます。自治連合会と合わせて承認いただいた後、平成26年度定時総会に諮りたいと考えていますので、ご了承ください」と述べた。 <企画運営委員会> 阪本企画運営委員長から、新規プロジェクト事業について報告をする旨を述べた。 「ほっとまち茶房ききょうの12月1カ月の状況報告です。オープン日数は15日、利用数487杯、一日平均32杯となりました。売り上げ
------------------------	---

はコーヒー他２品目で４５，９００円（回数権利用分を含む）となりました」と述べた。

次に子どもと地域の絆づくり事業について大垣副会長から、２月１日、桔梗が丘小学校区の運営委員会を開催して、次年度の計画を検討することになっている旨、報告があった。

みどり環境整備・保全事業プロジェクトについて、加納プロジェクト代表から概ね次の様に報告があった。

「１月６日に桔梗が丘みどりの会設立準備会を開催し、平成２６年度にスタートさせるみどり環境整備・保全事業プロジェクト推進にあたり、これまでのみどりの会を正式にプロジェクト事業部会の中心メンバーに位置付け、引き続き活動を行なうとともに、組織整備に取り組むことにいたしました。名称は「桔梗が丘みどりの会」。役員は代表加納康嗣、事務局福森譲、他スタッフ８人の１０人です。この後、規約案の作成、スタッフの募集、作業計画の検討をすすめていきます。環境整備・管理作業は野鳥公園整備、鳴滝公園、１０号公園を重点的に取り上げ、整備計画を作成します。正式スタートは平成２６年度定時総会後を予定しています。

尚、それまでの整備作業は１月２０日に野鳥公園整備、２月３日（月）定例会、２月１７日（月）に定例作業日を予定しております」と報告があった。（それぞれの整備作業予定の内容は資料参照）

現在、設立準備会となっています、会の名称を「桔梗が丘みどりの会」とすることをご了承いただきたいと思います」と述べた。

福森事務局担当から、スタッフ８人の紹介があった。

上田博、阪本忠士、小幡正廣、各務正彦、湯川孝次郎、有馬隼人、金谷保史、山田紀夫の８人の方。

住居表示設置事業プロジェクトについて、吉野代表から概ね次の様に報告があった。

「１月１７日（金）に検討会を開催し、これまでの経過を整理し、今後の進め方を検討しました。住居表示板は電柱用、各住居用とも明るい緑色に決めました。具体的には１５０万円の予算に沿って住居表示を先ず進めることにします。全戸約５，５００から５，６００戸に配布し、つぎに街区表示と町内表示は街の角に６箇所位、電柱には４箇所位を先ず設置します。本格的な設置は平成２７年度にしたいと思っております。体裁は他地区を参考にして当地域にふさわしい物に決定します。７月から製作にかかり、１１月から年明けにかけて各戸に配布が出来るように計画しています。平成２７年度の実施内容については、当プロジェクトチームで更に検討を進めて行きたいと考えています」と述べた。

農楽園プロジェクトについて、スタッフの福森譲氏から概ね次の様に報告があった。

「１月１２日（金）に会合を持ち、今後の進め方について検討を致し

ました。農楽園運営にあたっては土曜、月曜の2班に分けて作業をし、試験農地300平方メートルの整備を進めます。この整備に際しての問題点は排水と土づくりになります。今年の試験作付けは根菜類のじゃがいもに決定しました。又新年度より一人500円(月額)の運営会費を徴収することも決めました。

今後の作業予定は1月18日(土)溝掘り、土ならし等を行い、次の作業日の2月1日(土)に堆肥入れ、耕運作業を予定しています。

2月15日(土)は第三土曜日で全員作業日となっています。今後の作業予定は以上の通りです」と述べた。

お助けセンター設立プロジェクトについて、阪本企画運営委員長から概ね次の様に報告があった。

「代表の坂口さんに代わって報告します。1月8日(水)に第6回の会合を持ちました。目的・内容について検討しました。

- ・ サービスを受ける住民に対しは、ご自身がサービスを受ける選択肢を増やすことを目的とします。民間の専門家との境界線を決めるのではなく、共存する組織として運営する。
- ・ 立ち上げ段階では、日常生活でお困りの事案とする。
- ・ 「食」「子ども」の支援について今後の検討課題とする。
- ・ サービスの内容、支援対象、アンケート、事務所の場所等の具体的な進め方は更に検討を進めていきます。

次回の1月29日(水)の会合は配食サービスをテーマに開催しますので「いこい」「友～友」の方にも出席を頂く予定です。

更に、2月12日の定例会で更に検討を進めて行きます」と述べた。

議長から、出席者に対して、「桔梗が丘みどりの会」の設立について意見を求めたが、異議無く了承された。

<広報委員会>

野邊広報委員長から、「報告の内容は資料に記載し、配布しておりますのでご覧下さい。3月にききょう通信60号を発行する予定をしていますが、これまで発注していた印刷業者が廃業した為、編集・校正作業の流れからみて、現在、大変困った状況にあります。従って、編集作業の流れによっては発行がすこし遅れる可能性があります。紙面の内容はまだ決まっておりませんが皆さんからの情報をよろしくお願いします。予定としては第1面に26年度の地域ビジョンの取り組み状況、総務委員会の研修会の報告を中心とし、2面については地域だより、福祉便り等の事項を考えています」と述べた。

<3委員会の報告に対する質疑>

辻森会長:印刷業者については市の方にも情報提供を依頼していますが、早急に進めてください。

事務局長：現在3社位を候補に挙げて検討しています。

辻森会長：配食サービスの活動について、衛生面と厨房施設・設備についての注意点、検討すべき点を早急に出してください。次に、お助けセンター設立に関して、配食サービスの検討が進められると思いますが、その際、衛生面、厨房設備面を含めたことについても今後の課題として検討を進めてください。

野邊理事：住居表示板の色の決定過程はどうでしたか。桔梗が丘に因んで紫色とかを検討されましたか。地域色の観点から見てみるとか、まちの景観を考慮するとかの点からです。設置してもらう場所についても指導・要望をすることも検討していただきたい。

吉野理事：そのことも意見としてありました。そこで、他地区の状況や、メンバーが個々の意見を出し合い、最も分かり易い色としました。

設置箇所を統一するよう要望するかについては今後の会合で検討をします。

梅本理事：お助けセンター設立に関してですが、専門の受付場所（事務所）が必要になると思います。

阪本理事：勿論その方向で進んでいます。

野邊理事：お助けセンターの全体構想はまだ纏まっていないようですが、出来るだけ早く出していただくようにお願いします。多くの方が関心を持っておられると思います。気軽に声掛けができる所にして欲しいものです。

<健康推進部会>

西宮健康推進部会長からは、部会活動についての報告は特に無かった。

<住民交流部会>

廣岡部会長から、部会活動について別添え資料に基き概ね次のような報告があった。

「1月22日（金）に部会を開催し、先日開催した「ハッピーニューイヤー・ききょうフェスタ」と「どんど」行事の結果と反省をしました。その詳細が資料に記載してありますので参照してください。

ハッピーニューイヤー・ききょうフェスタの来館参加者は239人（その内訳は幼児57人、小中学生87人保護者95人）で、スタッフ54人で対応しました。昨年より多く盛況でした。振る舞いもありましたが無事終了し良かったと思っています。今回で10回目となる開催で、内容もほぼ昨年と同じでしたが、子どもたちにも大変好評でした。

一方、「どんど」行事は1月13日午前8時に点火してスタートしました。昼過ぎまでかかりましたが、約460人の参加がありました。

豚汁の振る舞いも好評でした。

二つの行事共、教育文化部会、どんど保存会の全面協力で実施していますが、来年度も引き続き当部会が担当して実施を予定しています。

日程は、桔梗が丘夏まつり：8月23日（土）ハッピーニューイヤーは平成27年1月10日（土）どんど行事は1月12日（月・祝）を予定しています。

住民交流部会の次年度の課題は、現在登録部会員は17人ですが、実質10人前後で活動しており、効率よく活動できるよう大枠の予定・計画を早めに作成して、対応できるようにして行きたいと思っています」と述べた。

河合理事（第1ブロック長、どんど保存会）から、「1月13日（月・祝）開催した“どんど行事は”昨年と違い天候にも恵まれ、大人から子どもさんまで、多くの方の参加をいただき無事終了しました。点火も今年は午前8時に繰り下げ、多くの地区からの参加をし易くしました。厨房作業を始め多くの皆様のご協力に感謝をします。特に農楽園の方からは多くの野菜を提供いただきました。有難うございました。来年度以降もどんど保存会の伝統行事として育てて行きたいと思っています。これからもよろしくお願いします」と述べた。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長欠席の為、特に報告事項はなかった。

議長は、以上3部会の報告に対する意見を求めた。

出席者からは特に意見は無く報告は了承された。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、部会活動について別添え資料に基き概ね次のような報告があった。

「1月18日（日）に「小中学校における災害時の対応をみんなで考えるワークショップ」に参加しました。市内の小中学校8ブロックに分かれてワークショップが開催され、当地域からは桔梗が丘小学校、桔梗が丘中学校、桔梗が丘南小学校、桔梗が丘東小学校の4ブロックに参加しました。目的は学校側の災害時対応を住民側と連携してどのようにおこなうかということでした。目的等の詳細は資料に記載をしていますのでご覧下さい。これまでこうした地域と学校側が連携した訓練は無かったので、その点意義あるものでした。我々側（住民）の要望・提案も出すことが出来ました。

又、関連行事としての講演会が、2月15日（土）「避難所開設・運営について考える～地域での共助、地域に合わせた防災～」開催されますので皆さんも是非ご出席いただきたいと思います。

青色回転灯のパトロールは1月15日、20日に実施しました。いず

れの回も異常は見られませんでした。以上報告します」と述べた。

<快適環境部会>

加納快適環境部会長から、部会活動について概ね次のような報告があった。

「本年度のバードウォッチングを1月5日（日）に実施しました。参加者約50人でした。年々盛況になって来ていますが、今年は野鳥が西徳明池には殆ど見られませんでした。自然環境の変化が有ったのか気になるところです」と述べた。

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長からは特に報告事項はなかった。

議長は以上の3部会の報告について意見を求めた。

野邊理事：吉野さん、避難所ワークショップに関連して、名張市の防災力をどのように感じておられますか。協議会の取り組み方についての感想はどうですか。

吉野理事：以前、地域内各区の防災対策についてのアンケートをしたが、防災備品、倉庫を備えている所は約三分の一くらいであったので、こうした所から改善していく必要があると思う。次に年1回の防災訓練は必要と考えています。名張市からはハザードマップが各戸配布がされていますが、我々が日頃の啓蒙運動を地道に続けることも必要です。

野邊理事：行政側に要望することは公に任せ、地域の防災力アップのために協議会が成すべきことを整理し、各自治会・区で出来ない事を中心にして細かい所からも手掛けるようにすべきと思っています。こうしたことが地域住民の防災意識の向上に繋がっていくと考えています。

辻森会長：桔梗が丘24地区の自治会長・区長がまとまって、防災・減災について方向や方策を検討することが必要と思っています。その上で桔梗が丘全体の防災対策を立てなければならないと思います。

大垣副会長：自主防災隊、全体の防災訓練の実施等は進んでいない面があります。今後は地道に啓蒙活動を続けながら、こうした事も重点的に取り組む必要があります。

野邊理事：最近、我々桔梗が丘の地域力が落ちているように感じています。協議会の何か大きな柱になる活動を通じて、地域力アップを目指し、地域住民全体で“まち”が盛り上げる形になっていくよう、努力が必要と感じています。又5月の定時総会がもっと盛り上がり、積極的な意見が出されるようにしたいものです。一方、住民の方に新規プロジェクト事業に加わってもらうよう、呼び掛けや問い掛けが必要です。

大垣副会長：いわゆる世間で言われる団塊の世代の方に参加してもらうことが重要です。そしてもっともっと多くの団塊世代の方に参加して

その他 1. 平成25年度事業報告並びに平成26年度事業計画書の作成について 2. 名張市防犯協会からの調査依頼について 3. 防災研修会について 4. 名張市議会（教育民生委員会）との懇談会について	もらえるように協議会として方策を検討して行きたいと思います。 その他に出席者からは特に意見は無く3部会の報告は了承された。 ＜その他の報告事項＞ 大垣副会長（総務委員長）から、「各委員会、事業部会共、平成25年度事業報告並びに平成26年度事業計画書の作成をお願いします。事業報告は4月初め位、事業計画は3月中を目処にお願いします。先般、お願いをしましたが、各委員会、事業部会の活動を網羅したチラシを2月20日位までに作成してください。委員・部会員募集の回覧を3月に回したいと思いますので、ご協力ください」と述べた。 ＜意見交換の結果、平成26年度事業計画書の作成は現役員で作成することが了承された＞ 辻森会長から「名張市防犯協会から、各自治会長・区長に対して自主防犯パトロールの実態調査の依頼が出されています。こちらで当協会に問い合わせその結果をまとめて一覧にして配布をしていますのでご承知置き下さい。尚各自治会・区長さんにはそれぞれ調査の上、報告書はコピーを事務局に出した上で、防犯教会に提出いただくようお願いをしました。協議会は生活安全部会の防犯パトロールが登録されています」と述べた。 辻森会長から「2月8日（土）に三重県伊賀庁舎で自主防災組織リーダー研修会「東日本大震災の実態と伊賀地域における避難所運営」の講演会が開催されます。チラシを配布していますので、興味のある方はご参加下さい」と述べた。 辻森会長から「2月3日（月）に名張市議会（教育民生委員会）と次のような内容で懇談会が開催されます。テーマは「名張市の子育て支援について」で、（1）小児救急医療センターについて（2）子どもセンターについて（3）子育て応援Webサイト「ママフレ」についてです。これらの課題についてご意見があれば2月2日までにお知らせ下さい」と述べた。 梅本理事：「新しい子どもセンターをもっと有意義に使えるよう工夫をするよう検討が必要と思います」 以上で会議は終了した。
---	--

次回理事会は、平成26年2月22日(土)

時 間 午前9時30分より

場 所 桔梗が丘公民館 202号室

議 長

辻森保蔵  印

議事録署名人

河合 進  印

議事録署名人

武仲元男  印

	副会長	副会長	総務委員長	書 記
				